

令和2年度 家庭科 3年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術のかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

< 2 > 各学年・各分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

生活や技術への関心・意欲・態度	衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活をよりよくするために進んで実践しようとする。
生活を工夫し、創造する能力	衣食住や家族の生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し、創造する。
生活の技能	生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
生活や技術についての知識・理解	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ①実践的、体験的な学習や問題解決的な学習活動の設定
- ②言語活動の充実
- ③ICT 機器の活用
- ④個に応じた指導

技術・家庭科 3 学年 家庭分野 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	工	技	知	
4	身近な消費生活と環境 (1 時間)	・自分や家族の消費行動と環境との関わりについて考える。	●			●	・環境に配慮した生活を送る必要性を理解している。(ワークシート、定期考査)
4 5 6	家族・家庭と 子どもの成長 ・家族、家庭の機能 ・自分にとっての家族、家族にとっての自分 ・地域と家庭 ・よりよい家族関係 (3 時間)	・家庭と家族関係について関心をもち、家庭生活をよりよくしようとする。 ・自分の成長や生活が家族やさまざまな人に支えられてきたことに気付く。 ・家庭生活全般が地域の人々とのかかわりの中で成り立っていることに気付く、これから自分が地域の人々とどのようにかかわっていけばよいかを考えることができる。 ・自分の生活を振り返り、家族関係をよりよくする方法を工夫し、実践する。	●	●			・自分と家族とのかかわりに関心をもち、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。(観察、ワークシート) ・家庭や家族の基本的な機能について理解している。(観察、ワークシート、定期考査) ・これから自分が地域とどのようにかかわっていけばよいかを考えることができる。(ワークシート) ・具体的にさまざまな地域の活動があることに気付く、これから自分が積極的にかかわっていこうと考えている。(観察、ワークシート) ・家族や家庭の機能と地域のかかわりを関連づけて理解し、相互のかかわりの重要性についても理解している。(観察、ワークシート) ・自分の家庭生活などについて課題を見つけ、家族関係をよりよくする方法について考え工夫している。(観察、ワークシート)
7 8 9	家族・家庭と 子どもの成長 ・幼児の心身の成長、生活習慣と遊び (5 時間)	・幼児の発達の特徴、生活習慣の習得について理解する。 ・幼児の発達の特徴をいかし、成長を促す遊びやおもちゃについて考える。 ・おもちゃの製作をする。	●			●	・幼児の観察を通して、幼児や心身の発達、成長に関心をもっている。(ワークシート) ・幼児の心身の発達の特徴、成長、遊びの意義について理解し、実践している。(観察、ワークシート、定期考査)

		・幼児の遊びや発達と家族の関わりなどについて、観点に基づいて観察したことを整理する。		●	●	・幼児が互いにかかわり合えるような遊びを考えることができる。（観察、実習、定期考査） ・幼児の発達や興味に合わせたおもちゃを考え工夫して作ることができる。（実習、作品） ・幼児の遊びや発達と家族のかかわりなどについて観点に基づいて観察したり、整理したりすることができる（観察、ワークシート、定期考査）
10 11 12 1 2 3	家族・家庭と子どもの成長 ・幼児のためのおやつ作り ・幼児とのふれあい活動 ・子どもにとっての家族（9時間）	・幼児の食事の特徴やおやつ的重要性について理解し、おやつを作る。 ・幼児とふれ合う活動などを通して、幼児に関心をもち適切に関わろうとする。 ・子どもが育つ環境としての家族、家庭、地域の役割について知り、地域の一員として幼児とかわることができるようになる。	●	●	●	・幼児の食事の特徴について関心をもち、おやつを作ることができる。（観察、実習、定期考査） ・幼児にとってのおやつの位置づけと内容について理解している。（ワークシート、実習、定期考査） ・幼児の心身の発達に応じたかかわり方について考え、工夫し、適切にかかわっている。（観察、ワークシート、定期考査） ・子どもが育つ環境としての家族・家庭・地域・社会の役割について理解し、実践しようとしている。（観察、ワークシート）